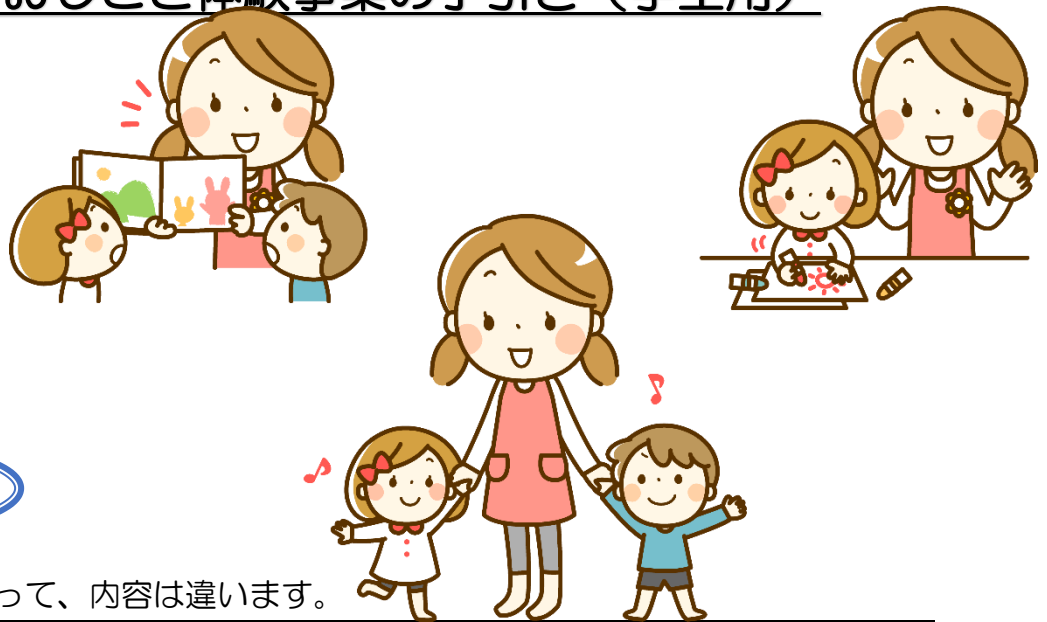


保育のおしごと体験事業の手引き（学生用）



スケジュール例

※施設や体験日数によって、内容は違います。

時間	保育施設の1日（例）	体験内容
7:30	開園	集合
9:30	あそび	体験内容の説明、施設の見学など
11:30	給食	保育の補助、給食の補助
13:30	お昼寝・おやつ	清掃、明日の準備
15:30	あそび	体験の振り返り
17:30	降園	
19:30	延長保育	

- ・ 保育の補助…絵本の読み聞かせ体験・水遊び・砂遊び・お散歩など。
- ・ お昼寝の時間に、園児と一緒に寝ないように気をつけてください。

保育体験にあたって



←服装のイメージ
こんな感じが理想。

1. 体験当日の服装など

- ・ 子どもたちに怪我をさせないよう、爪は短く切っておき、髪飾り（シュシュ）・指輪などの装飾品は一切身につけず、ネイルや化粧は必ず落として参加してください。
- ・ 華美な恰好は控え、体操服やジャージ、T シャツ、動きやすく、汚れてもいい服装を準備してください。ヒールはご遠慮ください。
- ・ 髪が肩より長い場合は落ちないように黒いゴムでしっかりと結んでください。ヘアピンは使用しないでください。
- ・ 清潔感をあたえる印象づくりをこころがけてください。
- ・ 途中で昼食を買いに行くことはできません。あらかじめ必ず準備してきてください。

2. 体験中は

- ・明るくあいさつをする、呼びかけにはっきり返事をするなど、保育施設の先生たちや子どもたち、保護者の方々と、きちんとコミュニケーションをとりましょう。
- ・分からないことや不安に思うことがあったら、すぐに保育士の先生に相談してください。
- ・憧れの先生たちが、普段どんなふうにいるか自分の目で確かめてみよう。
- ・子どもさんの、いのちを預かる現場です。常に責任をもった行動をこころがけてください。

3. 体験当日の持参物

上靴、着替え（汚れた時のため）、替えのマスク、帽子、タオル、水筒、昼食。

※体験中はスマートフォンの電源をマナーにいただき、撮影はご遠慮ください。

※貴重品はなるべく持参しないでください。

※熱中症対策のため、帽子やスポーツドリンクなど、ご自身で必ずご準備ください。

4. 体験一週間前までに体験先の保育施設へ確認すること

①登園時刻 時 分

②昼食 **お弁当持参**

③緊急時に連絡が取れるよう、携帯電話などの連絡先を保育施設へ伝えてください。

④自転車の場合は、駐輪場の有無を確認してください。

⑤感染症対策として、マスク着用が必要かどうかを確認してください。

⑥わからないことがあれば、些細なことでも体験先の保育施設に聞いてください。

5. お願い

- ・体調不良などで参加できなくなったときや、交通機関の遅れなどで登園時刻に間に合わないときは、必ず事前に体験先の保育施設に連絡してください。
- ・自然災害や行事などの理由により、体験が中止となる場合は、体験施設または事前に当協会よりご連絡させていただきますので、予めご了承ください。

まってるけんね～♪

